



環境社会報告書

2020



経営の理念

創造性豊かな好感度企業をめざして…

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて…

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは上記の経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

表紙・裏表紙の写真

表紙上段・下段 …… 竜洋工場より
表紙中段 …………… フルコンサートグランドピアノ SK-EX
裏表紙 …………… 竜洋工場を上空から撮影
竜洋工場は 2020 年に竣工 40 周年を迎えます。

編集方針

内容

カワイグループにおける環境活動側面に加え、企業における社会的責任の視点、コーポレート・ガバナンスの取り組みを掲載した「環境社会報告書」となっています。

企業概要は5ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2020年版について

各項目に方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

報告対象期間

2019年度（2019年4月～2020年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2020年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場
- ・カワイ精密金属(株)
- ・(株)カワイキャスティング
- ・(株)カワイハイパーウッド
- ・(株)カワイ音響システム

目次

トップメッセージ	3
カワイグループの企業概要	
カワイグループの会社の概要と主な事業	5
カワイグループのあゆみ	6
第6次中期経営計画の概要と進捗	7

環境に対する取り組み (Environment)

地球環境憲章 / 環境方針	9
グリーン調達ガイドライン / 木材調達ガイドライン	10
環境負荷低減の目標と実績	11
廃棄物削減の取り組み	12
環境マネジメントシステム / 環境教育	13
「カワイの森」植林活動	14
マテリアルバランス	15

社会に対する取り組み (Social)

次世代を担うピアニストの育成	16
音楽文化の普及	17
各種音楽団体への支援	18
海外での音楽文化の普及	19
教育事業 音楽教室	20
体育・スポーツ教室	21
スポーツコミュニティ	22
一般事業主行動計画の遂行 / 育児休業取得推進	23
障がい者雇用 / 人材育成	24
女性活躍推進活動	25

コーポレート・ガバナンスに対する取り組み(Governance)

コーポレート・ガバナンス基本方針	26
コーポレート・ガバナンス 体制/内部統制システム	27
リスク管理体制	28

資料編

環境負荷サイト別一覧	29
第三者意見	30

SDGs に対する取り組み

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダに記載された持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)は17の目標と169のターゲットで構成され、2030年までに達成すべき目標として掲げられています。

本誌では関連する取り組みを記載したページに該当するアイコンを付与しています。

カワイでは事業活動を通じてこれらの目標達成に向けて貢献してまいります。



長期ビジョン「100年ブランドの確立」のもと
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に
取り組みます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまと
そのご家族に対して心よりお見舞い申し上げますとともに、感染
拡大防止や治療などにご尽力されている医療関係者の皆さまに
深く敬意を表し、感謝申し上げます。

カワイグループでは、政府、行政機関から発表されます感染症
対策の対処方針に則り、音楽教室、体育教室の生徒・先生の
皆さまをはじめ、お客様、従業員及びそのご家族の感染防止と
安全確保を最優先に必要な対応を図ってまいりました。今後も
冷静に感染拡大防止に努め、必要な対策を講じてまいります。

中期経営計画「Resonate 2021」への取り組み

カワイグループは、長期ビジョン「100年ブランドの確立」
のもと2019年度に第6次中期経営計画「Resonate 2021」
をスタートし、祖業であるピアノづくりでトップブランドを目指し、
各事業の強みを深化させ、お客様満足度の追求・向上と
音楽文化への貢献を通して、企業価値・ブランド力の向上と
持続的な成長に取り組んでいます。

国内では、教室・販売・アフターサービスを一体化した地域
ユニット体制による営業活動の強化に継続して取り組み、カワイ
ブランドの発信拠点となる店舗を最大限に活用し、『Shigeru
Kawai』など高付加価値商品の販売に取り組まれました。

海外では、米国やドイツでの直営店展開を強化し、鍵盤楽器
の販売拡大を図るとともに、中国や東南アジアでは、当社の
強みである販売・音楽教室・調律・生産の四位一体のノウハウ
を活かして、中長期的な成長に向けた展開を推進しました。

商品政策としては、ダイナミックな響きの再現を可能にした
響板スピーカーとアップライトピアノのアクションを搭載した
ハイブリッドピアノ『NOVUS NV5』を開発し、2019年10月
に発売しました。また、2020年1月に米国で開催された「2020
NAMM Show」では、グランドピアノの弾き心地を再現した
ハイエンドモデルのデジタルピアノ『CA99』『CA79』を発表し、
当社商品の魅力を世界に発信しました。

今後の国内経済の見通しや世界経済の先行き、当社グループ
を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大に
よる影響により、非常に不透明な状況となっておりますが、お客さま
の満足を第一に、より良い商品・サービスを提供し、皆さまが
快適で豊かな生活環境を実現できるよう努力し、100年ブランド
としての企業価値の向上、長期的な安定成長の実現を目指して
まいります。

※ Resonate (レゾナイト) は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」という意味

創業の精神の継承と挑戦、竜洋工場 40 周年 『Shigeru Kawai』誕生 20 周年

当社は、日本で最初のピアノ完成に貢献した技術者として
知られる河合小市の「世界一のピアノをつくりたい」という創業
の志のもと、小市を慕う仲間とともに1927年に創立されました。

2代目社長河合滋は、1980年に竜洋工場を建設し、小市の
描いた夢の実現を目指しました。竜洋工場には、四季の自然の
息吹を感じながらピアノづくりに邁進できる「森の中の緑の
工房」という環境、「ピアノは本来一台一台手作りで丹念に作り
込んでいくものである」というピアノづくりの原点を極める
「原器工程」、先端科学技術による研究成果を活かしたピアノ
づくりを目指す「ピアノ研究所」という3つの象徴的な特徴が
あります。そして、その夢は、1999年にグランドピアノの
プレステージ・モデル『Shigeru Kawai』として結実されました。
その誕生から2019年に20周年を迎えましたが、国内外の
著名なピアニスト、音楽関係者から高い評価をいただいている
のは光栄なことです。また、竜洋工場は、3万本の樹木におお
われた緑豊かな工場となり、「森の中の緑の工房」の名に相応
しい工場として本年、竣工40周年を迎えます。

ピアノづくりは時間がかかります。親子代々、数代を経てやっと
完成するような、それほど息の長いものです。いま、その確固
たる創業の精神は、当社の企業活動・価値創造の変わることの
ない原点として、さらなる進化を目指して現在の当社グループに
働く一人ひとりに受け継がれています。

2027年 創立100周年 100年ブランド



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と第6次中期経営計画「Resonate 2021」の位置づけ

音楽文化への貢献と人材の発掘・育成

2019年7月には、次世代を担うピアニストの発掘と育成を目的として創設した「Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール」の第3回を開催しました。18の国と地域から234名のピアニストがエントリーし、高いレベルの演奏が繰り広げられ、大きな反響を頂きました。

本コンクールで第1位に輝いたイリヤ・シュムクレルさん(ロシア)には、ピアニストとしてのキャリアを重ねていくためのサポートを継続的に行ってまいります。

今後も、本国際ピアノコンクールを通して次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興に注力してまいります。

人財育成の取り組み

めまぐるしく移り変わる世界情勢と時代に即した組織づくりのためには、これからのカワイを担う「人財」の育成が重要です。そして、一人ひとりが持つ力を十分に発揮できる職場づくりのためのダイバーシティマネジメントやワークライフバランスの推進が、取り組むべき重要な課題と認識しています。

2019年には、女性が輝き続けられる強い企業を目指して女性活躍推進プロジェクト『Love it! (ラビット)』を発足し、活動を開始しました。

また、当社グループで働くすべての人とその家族の心身の健康こそが、経営の理念の「創造性豊かな好感度企業を目指す」ための礎であり、当社グループおよび社会にとっての大切な財産であるという認識のもと『健康経営宣言』を制定しました。そして、従業員とその家族の健康づくりを推進していることが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2020 (大規模法人部門)」に認定されました。

環境への取り組み

優れたピアノをつくるには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛からつくられるフェルトなど、多くの良質な天然素材が欠かせません。豊かな自然環境が保たれること、すなわち地球環境の保全は当社グループの持続的発展に不可欠な要件です。このような基本的な考えのもと、1994年に「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念の推進体制として全社組織の「カワイ地球環境委員会」を設置しました。

そして、グローバルな視野に立った地球環境の保全に配慮した事業活動を推進するために、竜洋工場において1997年に業界で初めて環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得しました。以後、国内・インドネシア・中国の主な生産拠点に ISO14001 を導入してまいりました。その活動の重要課題として、「木材調達ガイドライン」などの方針に基づく責任ある調達、省エネルギーとCO₂排出量削減、廃棄物の削減とリサイクル率向上による資源効率と資源循環の向上に注力してまいりました。

インドネシアにおいては、CO₂吸収や自然災害防止などを目的に2007年にカワイの森育成会が、PT.カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社と協働で「カワイの森」活動を開始しました。これまでに約550ha、55万本のチークなどの樹木を植林し、さらに2017年からは急速に減少してきたマングローブ林の再生のための植樹も合わせて実施しています。

パリ協定が発効し、SDGsが採択されるなど、国際社会が、持続可能な社会の実現に向けて急速に変化しています。一方では、新型コロナウイルス感染拡大により世界が変容しつつあります。当社グループは、このような社会状況と事業環境の変化を踏まえて、様々なESGの課題への取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献することにより、皆さまから信頼される企業を目指してまいります。

今後とも、皆さまの一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

カワイグループの会社の概要と主な事業

社名 株式会社河合楽器製作所
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創立 1927年(昭和 2年) 8月 9日
 設立 1951年(昭和 26年) 5月 15日
 代表者 代表取締役会長兼社長 河合弘隆
 資本金 7,122 百万円 (2020 年 3 月末現在)

経営指標

		2017年度	2018年度	2019年度
売上高 (百万円)	単独	50,197	51,524	49,481
	連結	70,795	72,376	71,302
従業員数 (名)	単独	1,291	1,269	1,282
	連結	2,837	2,813	2,839



楽器教育事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務
 音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

●国内での販売

- (株) 河合楽器製作所
- (株) 全音楽譜出版社

●海外での販売

- カワイアメリカコーポレーション
- カワイヨーロッパ GmbH
- カワイカナダミュージック Ltd.
- カワイオーストラリア PTY.Ltd.
- PT. カワイミュージックインドネシア
- 河合楽器(中国)有限公司
- 河合貿易(上海)有限公司
- カワイ UK Ltd.
- カワイフランス SAS
- カワイピアノ・ロシア

●楽器の調律・修理

- (株) 河合楽器製作所

●国内での楽器製造

- (株) 河合楽器製作所
- (株) 全音楽譜出版社

●海外での楽器製造

- PT. カワイインドネシア
- 河合楽器(寧波)有限公司
- 上海カワイ電子有限公司

●国内での教育関連

- (株) 河合楽器製作所

●海外での教育関連

- PT. カワイミュージックスクールインドネシア

●その他

- (株) カワイ友の会

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄
 鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 (株) カワイ精密金属
- 自動車部品用材料の製造 (株) カワイハイパーウッド
- 鋳鉄鋳物の製造・販売 (株) カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造・販売 (株) カワイ音響システム

その他の事業

- 情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他
 (株) カワイビジネスソフトウェア
 (株) カワイアシスト

カワイグループのあゆみ

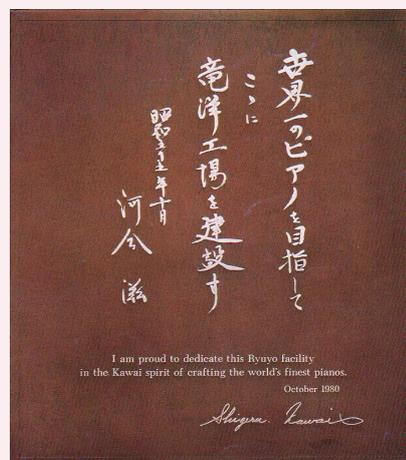
- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立
ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 河合滋 社長に就任
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
ピアノ調律技術者養成所(現カワイ音楽学園)を開校
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1967 カワイ体育教室を創設
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場竣工
- 1985 (株)カワイビジネスソフトウェア設立
- 1989 河合弘隆 社長に就任
- 1994 全社的な環境推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 カワイ精密金属(株)浜松事業所において ISO9002 認証取得
竜洋工場において ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
- 1998 (株)カワイハイパーウッドを設立
- 1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
- 2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
- 2002 中国に河合貿易(上海)有限公司を設立
- 2003 カワイ精密金属(株)浜松事業所において ISO9001 認証取得
- 2004 カワイ精密金属(株)において ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器(寧波)有限公司を設立
- 2005 竜洋工場において ISO9001 認証取得
- 2007 上海市内にカワイ音楽教室中国第1号教室開設
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 河合楽器(寧波)有限公司において ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第3工場において ISO9001 認証取得
- 2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第1・第2工場において ISO9001 認証取得
- 2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
PT. カワイインドネシア第1・第2工場において ISO14001 認証取得
- 2012 中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に(株)カワイキャストイング設立
河合楽器(寧波)有限公司において ISO14001 認証取得
- 2013 上海カワイ電子有限公司において ISO9001 認証取得
- 2014 (株)全音楽譜出版社を子会社化
ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
- 2015 アメリカ テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ第1号店をオープン
カワイ精密金属(株)において ISO14001 認証取得
東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始
- 2016 中国楽器協会と「ピアノ調律事業に関する基本合意」を締結
中国 北京市に河合楽器(中国)有限公司を設立
(株)カワイハイパーウッドにおいて ISO14001 認証取得
- 2017 第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール開催
アメリカ テキサス州ダラスに海外直営ショップ第2号店をオープン
(株)カワイ音響システムにおいて ISO14001 自己適合宣言
- 2018 フランス クールブヴォア市にカワイフランス SAS 設立
ドイツ ハンブルグに海外直営ショップ第3号店をオープン
- 2019 「Shigeru Kawai シリーズ」誕生 20 周年
- 2020 竜洋工場竣工 40 周年



1927年 河合小市は7人の技術者とともに河合楽器研究所を創立しました



1955年 河合滋は小市の「世界一のピアノをつくりたい」という想いを受け継ぎ社長に就任しました



1980年 世界一のピアノづくりを実現するための竜洋工場が竣工しました

第6次中期経営計画「Resonate 2021」の概要と進捗

長期ビジョン

100年ブランドの確立

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ります。

第6次中期経営計画「Resonate 2021」(2019年度～2021年度)

基本方針

カワイグループは、創造性豊かな好感度企業を目指し、「快適で豊かな生活環境の創造」・「お客様の満足を第一とした商品・サービスの提供」・「新しい時代に向けた企業活動の推進」・「社員を大切にし、明るい企業をめざす」を経営の理念とし、ピアノをはじめとする楽器・音楽教育等を通じて感動を皆様に広げ、快適な生活環境の創造に貢献することを使命としております。2019年度を初年度とする第6次中期経営計画「Resonate 2021」(Resonate(レゾネイト)＝鳴り響く、響き渡る、共鳴する)では100年ブランドの構築に向け、「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」をそれぞれ深掘りしてKAWAIのブランド力を高め、柱である楽器教育事業の収益性向上と、成長のための基盤強化に取り組み、企業価値の向上を目指します。

重点戦略

楽器教育事業の収益力向上と事業拡大を目指し、それぞれの力を強化・結集させてKAWAIの成長を図ります。

(1) 販売力の深化

成熟市場においては、フラッグシップモデルの『Shigeru Kawai』や、ハイブリッド製品などの高付加価値品の販売強化に取り組み、安定成長と収益性の向上を図ります。また、販売網の強化として、特に米国やドイツにおける直営店の販売拡大や、フランスの販売会社の活動強化に取り組みます。国内においては、四位一体の販売体制(直販、調律、音教、卸・楽器店)の確立と、CRM(顧客管理システム)の活用による販売基盤強化、旗艦店のリニューアルと首都圏展開の強化に取り組みます。中国市場においては、パートナーとの提携業務を深耕し、バリューチェーンの付加価値を拡大するとともに、音楽教室、調律事業の展開も連携して進め事業拡大を図ります。また東南アジアでの販売拡大と、中南米、中近東、アフリカ等での市場開拓の推進にも積極的に取り組んでいきます。

(2) 製品・サービス力の深化

『Shigeru Kawai』をはじめ、素材・基礎開発レベルでの研究継続による品質・製品力の深化、顧客満足度の追求に取り組みます。特に2019年からの3年間は、ハイブリッド製品や、タッチと音を追求したデジタルピアノの開発強化に重点を置き、生産工場に企画・開発機能を持たせ、市場ニーズに即した製品開発に取り組みめるよう体制を見直し、中国向け商品展開の充実化や低シェア市場攻略のための商品開発強化を図ります。あわせて、KAWAIのブランドマーケティング強化のため、商品企画・デザイン・プロモーションまでを一元管理する体制を構築します。また、アーティストリレーションの強化や、MPA(Master Piano Artisan 技術力の高い調律師のみが持つ社内資格)の育成、アフターサービス体制の充実化を進め、さらなる顧客満足度の向上に取り組みます。

(3) 生産力の深化

グローバルかつフレキシブルな生産体制の強化と、QCD(Quality・Cost・Delivery＝品質・コスト・納期)をさらに高めるための重点設備投資を実施します。

ピアノについては、マザー工場である竜洋工場を中心に、長年培ったKAWAIのオンリーワン技術を次世代につなぎ、100年ブランドに相応しいピアノづくりをグローバルに展開します。また、販売が好調な『Shigeru Kawai』生産ラインの改革・生産能力増強や、新生産システム導入による戦略的な原価管理、最適生産に取り組みます。

デジタルピアノについては、中国をはじめ全世界での販売増に対応するための生産体制を強化するとともに、生産工程の内製化など継続的な原価低減活動に取り組みます。

(4) 組織力の深化

中長期的に KAWAI グループが躍動するための人的資本の高度化に取り組みます。

- ・社員がいきいきと活躍できる「健康経営」の推進
- ・各階層に応じた教育研修プログラムの拡充による育成、能力開発
- ・女性の活躍を起点とした仕事と子育て・介護の両立支援と働き方改革の推進
- ・グローバル人材の育成推進、人事システムの刷新

また、経営基盤の強化のために、横断的な組織体制の構築やマネジメントプロセスの最適化、全社的な生産性向上と定型業務の効率化に継続的に取り組みます。



事業戦略

教育・調律事業の海外展開

教育・調律の自社ノウハウを活かし、各市場における KAWAI の総合的なブランド力を発揮するための基盤構築を進めます。中国においては宋慶齡基金会との連携事業の強化を図り、コースの開発・多様化、カワイ認定講師の組織化、教育機関や楽器店などの教室実施拠点や地域の拡大に取り組みます。また中国楽器協会との調律研修事業の拡充、調律受託サービスの展開を進めます。東南アジアでは、教室事業のインドネシア、タイでの拡大を図るとともに、マレーシア、シンガポール、ベトナムへの展開を加速していきます。

素材加工事業

中核である金属事業においては、CVT 自動車向け部品の受注増対応のため、3 年間で総額 18 億円の設備投資を実施し、生産能力の増強を図ります。また、EV 化の流れを見据えた新規品の開拓に取り組むとともに、第 3 の柱の育成に取り組みます。塗装事業においては、独自の塗装技術をさらに磨き、コスト競争力の向上と受注拡大活動を強化します。

連結業績指標

2020 年 3 月期は主力のピアノ販売では日本、欧州、中国で堅調に推移し、デジタルピアノも中国で伸長、欧州でも堅調に推移しました。しかし、円高による為替影響や、素材加工事業の受注減少、第 4 四半期以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い音楽教室や体育教室を休講としたことなどにより、当初計画に対し減収減益となりました。

(単位：百万円)

	2020 年 3 月期 計画※2	2020 年 3 月期 実績	2021 年 3 月期 計画※2	2022 年 3 月期 計画※2
売上高	73,000	71,302	74,000	76,000
営業利益	3,100	2,960	3,600	4,200
経常利益	3,100	3,118	3,600	4,200
当期純利益※1	1,900	1,545	2,250	2,650
営業利益率	4.2%	4.2%	4.8%	5.5%
R O E	7.5%	6.1%	8.3%	9.2%

(※1) 親会社株主に帰属する当期純利益です。

(※2) 2019年3月時点の計画値です。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を2020年5月時点では合理的に算定することが困難であることから未定としております。

(為替の前提レート 計画: US\$110円、ユーロ125円、元16円)

2020年3月期実績: US\$109.1円、ユーロ122.1円、元15.8円)

企業価値の向上 ESG への取り組み

KAWAI グループの持続可能な社会の形成に寄与する活動として以下のような取り組みを行ってまいります。

【環境】 E…Environment

「地球環境憲章」を掲げ、「環境方針」「グリーン調達ガイドライン」に基づき、環境負荷のより少ない材料・部品・製品の優先的な調達や植林活動など、地球市民の一員としてグループ全体で環境・資源を守る活動の積極的な取り組み

【社会】 S…Social

楽器メーカーとして、Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールなどを通じた若手音楽家の育成・支援や各国での音楽教育普及活動による音楽文化へ貢献する取り組み

【ガバナンス】 G…Governance

100 年ブランドの確立と持続的な成長を目指し、健全な企業経営の実現に向けた実効的なガバナンス体制への取り組み

地球環境憲章に基づいて環境保全活動を展開しています

地球環境憲章

カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。
また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

《行動指針》

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。
《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

環境方針

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
 - ① 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品の提供」「サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
 - ② 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

より環境負荷の少ない 原材料・資源の調達を推進しています



グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク (GPN) の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

《グリーン調達の基本方針》

- ① 調達の必要性を十分に考慮し、
- ② 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
- ③ 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

このグリーン調達ガイドラインはカワイグループが調達するすべての物品・サービスに適用されています。

また、調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することももちろん、天然資源への配慮から省資源、省エネルギー、処分やリサイクルまであらゆる段階での環境配慮がされていることも規定されています。

サプライヤー選定時にも環境に対する管理状況や省資源・省エネルギーへの取り組み、環境情報の公開状況などの配慮事項を定めて、購買部門より取引先様に対応をお願いしています。

グリーン調達ガイドラインの詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf

木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

《基本理念》

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

《基本方針》

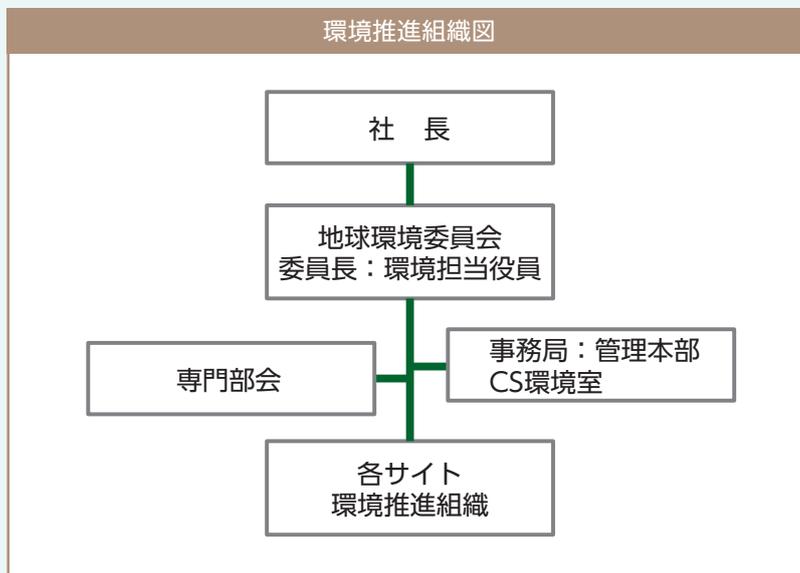
1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施しています。

環境推進組織図



環境負荷の低減や資源循環の取り組みを推進しています

環境負荷低減の目標と実績

地球環境委員会では、「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的として「地球環境憲章」と「環境方針」のもと、環境負荷低減に取り組んでいます。

CO₂ 排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で 2018 年度を基準年として毎年 1%削減することを 2019 年度～2021 年度の 3 ヶ年計画の目標値と決めました。従って、2019 年度は、それぞれ、2018 年度比 1%削減を目標値として取り組んできました。

2019 年度の実績を下表に示します。CO₂ 排出量原単位は 2018 年度比 4.5%減少、廃棄物排出量原単位は 2018 年度比 7.7%減少となり、目標値を達成できました。

廃棄物に関しては、鋳物製造部門の生産と工程の合理化によって鋳さいの発生量を削減したことが大きく影響しています。

	指標	年度					2019	増減	評価
		2015	2016	2017	2018 (基準年)	2019			
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	314	341	311	292	279	- 4.5%	◎	
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,238	6,710	6,201	5,891	5,655	- 4.0%	◎	
資源有効活用	廃棄物排出量(総量) (ton)	2,252	2,242	1,976	2,058	1,869	- 9.2%	◎	
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	32.5	33.7	27.9	28.4	26.2	- 7.7%	◎	

評価 ◎:達成 ×:未達成

地球温暖化防止の取り組みと省エネ法対応

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、下記の省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用による CO₂ 排出量の削減を推進しています。

CO₂ 排出量削減への取り組み

- 省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- LED 照明への更新
- 再生可能エネルギー使用検討
- 電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

カワイグループ国内全体の2019年度のCO₂排出量は京都議定書基準年の1990年度に比較すると32%の削減となっています。省エネ法(「エネルギー使用の合理化等に関する法律」)は、一定以上のエネルギーを使用している会社(特定事業者)にエネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務づけ、エネルギー使用量の実績報告や中長期の省エネ計画を届け出ることを規定しています。カワイグループでは(株)河合楽器製作所、カワイ精密金属(株)、(株)カワイキャスティングが特定事業者に、ピアノ製造の竜洋工場、金属加工のカワイ精密金属(株)本社・浜松工場、銑鉄鋳物製造の(株)カワイキャスティングの3工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2019年度は、(株)河合楽器製作所が、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優良事業者のSクラス*の評価を継続して受けています。

(*:エネルギー消費の5年間平均原単位を年1%以上削減する努力目標を達成した事業者)

また、本年度より海外生産系事業所のデータを掲載することとしました。現在、多くの生産系事業所でISO14001(環境マネジメントシステム)を導入しており、今後もグローバルな観点からエネルギー使用量とCO₂排出量の削減に取り組んでまいります。



廃棄物削減の取り組み

廃棄物に関して排出量の削減とともにリサイクルによる資源循環の取り組みが重要な使命と認識して取り組んでいます。

カワイグループの廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャストिंगがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが産業廃棄物として排出されたため、3,203tonにまで増加しました。

その後、(株)カワイキャストिंगは生産ラインの合理化、生産効率の改善に取り組みました。その結果2019年度のカワイグループの産業廃棄物排出量は1,869tonに減少、2012年度比で41.6%削減、3か年計画の基準年2018年度比で9.2%の削減を達成することができました。

廃棄物の再資源化率についても、当初、(株)カワイキャストिंगの再資源化率が小さかったために、カワイグループ全体の再資源化率に大きく影響しましたが、その後、(株)カワイキャストिंगで鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、(株)カワイキャストिंगの再資源化率が2012年度39%から2019年度71%に改善し、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度57%から2019年度88%まで向上しています。

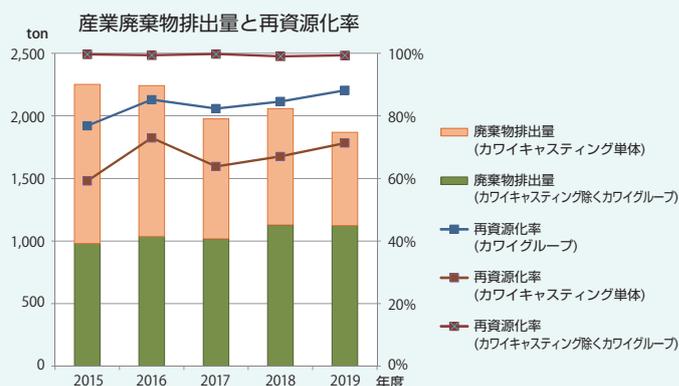
なお、(株)カワイキャストिंगを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は、基準年2018年度1,129tonに対して2019年度1,123tonとほぼ横ばいとなりました。また、再資源化率は99%以上を継続維持しました。

カワイグループ全体で最も多くの産業廃棄物を排出している竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に、フェルト屑を堆肥等に、塗装廃棄物を無害なエコストーンに活用する等により、再資源化率100%を達成しています。

今後もグループ全体で廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上に取り組んでまいります。



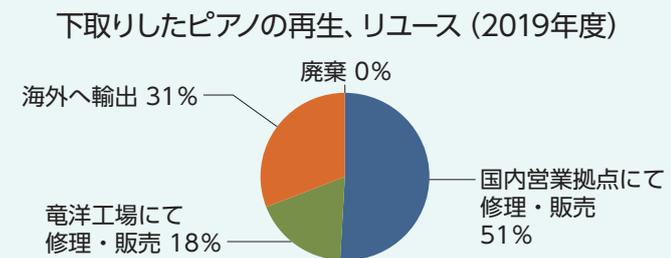
塗装廃棄物の再利用の例の展示



リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、ピアノの再生と再使用・リユースを推進しています。現在、国内統括部の中古ピアノ担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2019年度は国内で約900台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、31%が輸出され、世界の各地で使われています。



メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者により、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノの製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイ製ピアノについては純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。



専任技術者によるピアノ再生

環境管理レベルの向上に努めます

環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属 (株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善の PDCA サイクル (計画・実行・検証・対応の繰り返し) をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベイランス審査及び定期ごとの更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

全従業員の意識向上を図ります

環境教育と意識啓発

カワイでは新入社員を対象とした教育の中でカワイの森育成会による植林活動をテーマに講義を行い、環境への取り組みに対する意識啓発を行っています。

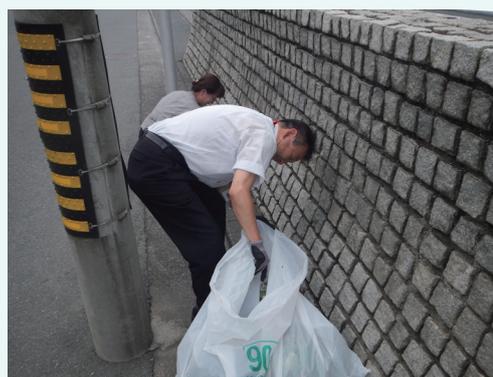
この他、環境月間における構内外での清掃活動の実施、ISO14001 導入サイトでは環境方針の掲示や朝礼での唱和の実施など、様々な場面で環境に対する意識づけの機会を設けています。

『カワイの森』の目的

- 地球環境の保全
 - CO₂の吸収 ⇒ 地球温暖化の防止
 - インドネシアの熱帯雨林を守る

- 社会貢献
 - 洪水・地すべりの防止(最近ではマングローブ林の再生)
 - 企業の社会的責任(CSR)活動
(CSR: Corporate Social Responsibility)

新入社員教育資料より



清掃活動の実施

「森の中の緑の工房」 竜洋工場

竜洋工場では 1997 年にピアノ業界では初となる ISO14001 を取得し、その環境方針に建設当初から推進している工場緑化を掲げています。現在では敷地の約 50% が緑地化され 3 万本もの樹木に囲まれ、2 代目社長河合滋が念願とした「森の中の緑の工房」を体現した工場となりました。

秋には磐田市内の子ども園の園児たちが工場を訪れ、どんぐり拾いをおこない、その実を工作あそびに使用してもらうなど竜洋工場の「森」を活用した地域貢献も行っていきます。



「森の中の緑の工房」 竜洋工場



どんぐりを拾う園児たち



どんぐりを飾ったケーキのおもちゃ

国内外で植林・植樹活動に取り組んでいます



インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノには多くの木材が使用されています。それらの木材を扱うカワイは創立 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により、カワイの森育成会（河合弘隆会長）を設立しました。カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生することや持続可能な木材資源の確保を目指して、PT. カワイインドネシアとインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて植林活動を行っています。

2017 年からは海の水質浄化機能・津波の防波堤機能が見直されているマングローブ林の再生活動の取り組みも始め、2019 年までに、約 4 万 8 千本の苗木を植えています。

2019 年までに 550ha の土地に約 55 万本の植林を行い、ほとんどの樹木が順調に成長しています。試算では「カワイの森」により年間 8,000ton 程度の CO₂ の吸収効果があり、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 38% 程度を吸収しているものと考えています。

2019 年 11 月にはこれらの植樹活動が西ジャワ州に貢献する CSR 活動であると認められ、PT. カワイインドネシアは州知事より西ジャワ州 CSR アワード・緑化賞の表彰を受けました。



マングローブの植樹



植樹を行ったチークの成長具合の確認



州知事（右）より西ジャワ州 CSR アワード・緑化賞の表彰を受ける PT. カワイインドネシアの従業員

被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

カワイの森育成会では、東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指す林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に 5 年前より参加してきました。東北森林管理局と協定を結んで海岸防災林の再生植樹から保育までを継続して取り組んでいます。

植樹会の開催時期には過去の開催地を訪れ、木々の成長具合の確認を行っています。2015 年に植樹を行った東松島市矢本地区のクロマツは、高いもので 1.5m 程度まで成長しています。



東松島市矢本地区の海岸防災林クロマツの成長状況



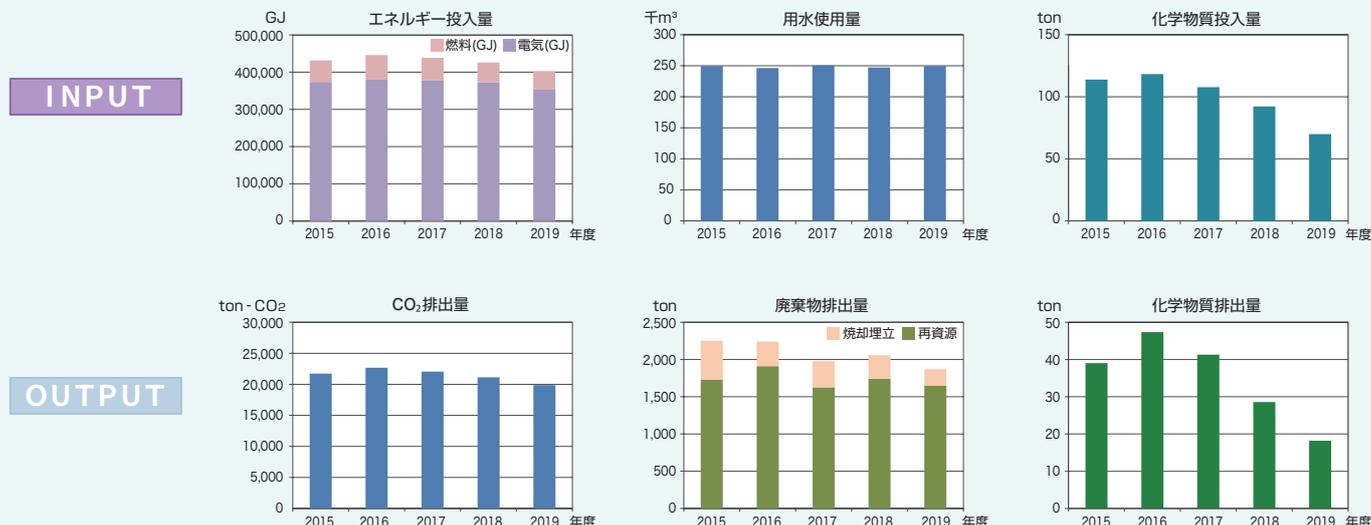
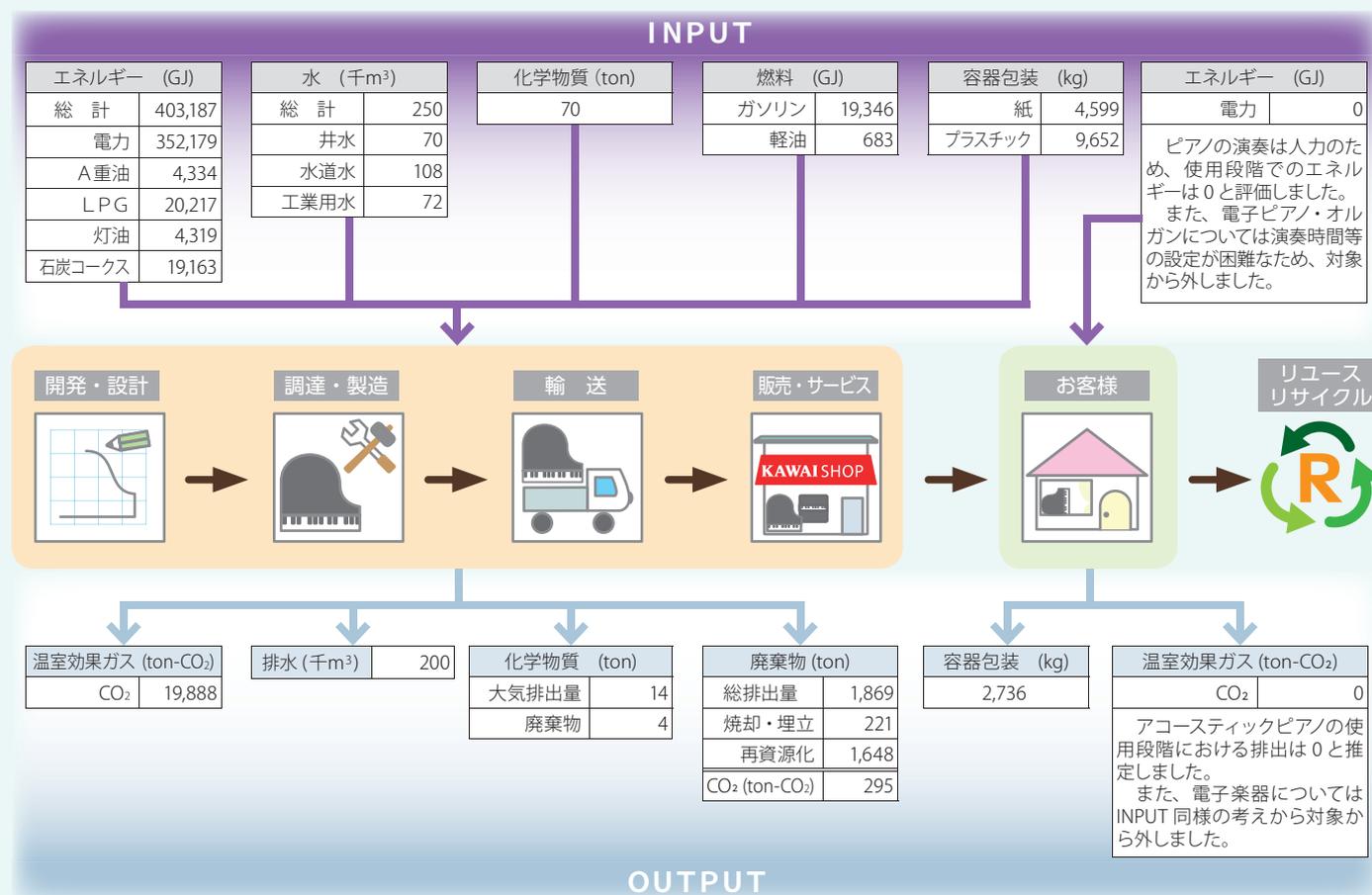


企業活動による環境負荷を数値で把握しています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行っています。

2019年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後、環境負荷の低減に取り組むとともに、データ把握の範囲を拡大し、グローバルなデータ把握をすすめます。



音楽文化の振興に貢献しています



音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、世界の音楽文化の振興に貢献するため、カワイグループでは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

次世代を担うピアニストを育成しています

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの開催

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは、2017年に当社創立90周年を記念して、次世代を担うピアニストを世界各地から発掘育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興を目指して創設されました。

近年多くの著名なコンクールで公式ピアノとして活躍する『Shigeru Kawai』グランドピアノの名を冠した当コンクールは、2019年に第3回を開催し、18の国と地域より234名のコンテストがエントリーし、イリヤ・シュムクレルさん(ロシア)が優勝しました。

また、海外ではスペインにてShigeru Kawai ピアノコンクール in マドリードが開催されました。このコンクールは国内で開催された第3回Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの予選も兼ねており、このコンクールで優勝したハリソン・ハーマンさん(オーストラリア)は本選に出場し2位入賞となりました。



入賞者・審査委員・伴奏者・委員会委員長



イリヤ・シュムクレルさん(手前)

国際ピアノコンクールへの参加

ショパン国際ピアノコンクールや浜松国際ピアノコンクールをはじめ、世界各地では優れた若いピアニストの発掘や育成、発表の機会の提供などといった様々な目的を持ったコンクールが開催されています。

カワイはこれらのコンクールで公式ピアノとして採用していただくことで、音楽文化の振興に貢献しています。

2020年1月から2月にアメリカ サンアントニオで開催されたグルビッツ国際ピアノコンクールではSK-EXを弾いたジャレ・リーさん(中国)が見事優勝を果たしました。



ジャレ・リーさん

『Shigeru Kawai』グランドピアノ誕生20周年・竜洋工場竣工40周年

世界各地のコンクールやコンサートなどで活躍している『Shigeru Kawai』グランドピアノは2019年に誕生20周年を迎えました。これを記念してカワイではヒストリー動画を公開し、誕生20周年記念レセプションなどを開催しました。

また、『Shigeru Kawai』グランドピアノを製造している竜洋工場は2020年に竣工40周年を迎えます。今後も世界一のピアノづくりを目指してまいります。

ヒストリー動画: Shigeru Kawai 20年のあゆみ <https://www.youtube.com/watch?v=mRxW4aFen1M>

竜洋工場40周年記念動画:

Make one sound -カワイ竜洋工場のピアノ職人- <https://www.youtube.com/watch?v=q9jrptbWDC8>



音楽文化の普及に取り組んでいます

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。カワイコンサートの開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画し、実施をしています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行っています。これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。詳細は多彩なコンサートや公開講座情報を掲載しているカワイ音楽振興会ウェブサイトをご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽を、というポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは発足以来これまでに2300回近くの公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いています。カワイコンサートには音楽教室の生徒さんや講師の方々にも来場いただき、感性の向上に寄与しています。また、全国各地で開催することにより地域の音楽文化の更なる発展にも貢献しています。

カワイコンサートの開催情報につきましては、カワイ音楽振興会ウェブサイトをご参照ください。



アンドレイ・シチコさんのコンサート



小川典子さんのコンサート

ロシアン・ピアノスクール in 東京 2019 公開レッスンの開催

ロシアン・ピアノスクール in 東京は2003年より毎年開催されています。本スクールは国際コンクール入賞者を100人以上も輩出しているモスクワ音楽院の故セルゲイ・ドレンスキー教授のクラスから講師を迎えてのレッスンです。これまで数多くの受講生が、受講後国内外のコンクールで入賞されています。

レッスンだけでなく、講師の模範演奏、受講生選抜演奏会が行われ、受講生・聴講生の育成だけでなく、来場されるお客様にも良質な音楽をお届けしています。



アンドレイ・ピサレフ教授による公開レッスン



受講生選抜演奏会

各種音楽団体を支援し 共に音楽文化の普及に取り組んでいます



日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念してポーランドのショパン協会との交流のもとに設立されました。初代会長は高折宮次氏で、高折氏と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後、年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降は毎年ショパン・フェスティバル in 表参道などを開催しています。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのび門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本音楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった東京芸術大学、国立音楽大学、及びゆかりの深かった武蔵野音楽大学の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象としたクロイツァー賞受賞者演奏会を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しています。(現在は、楽譜配信サイト『@ELISE(アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



クロイツァー賞
受賞者演奏会

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足しました。その後、ソ連の崩壊により日本・ロシア音楽家協会と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。

ロシアとの文化交流コンサートを開催するほか、声楽・器楽のコンサートなどを定期開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>



ロシア民謡
フェスティバル

日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



日本シマノフスキ協会

海外での音楽文化の普及に取り組んでいます

中国での音楽文化の普及

中国においては宋慶齡基金会と連携し、音楽教室の展開を進めることで、音楽文化の普及に貢献しています。中国（上海）国際楽器展覧会では、製品展示だけでなく、調律や音楽教育のセミナーを開催しています。また、調律師育成の一環として、教育支援を行っている北京・勁松（ジンソン）職業高校の生徒を日本に招き、調律技術の継承を図っています。



中国北京の音楽教室



中国（上海）国際楽器展覧会



調律技術指導の開講式



調律技術指導を受ける勁松職業高校の生徒

新興国での音楽文化の普及

現地教育者の育成を推進するとともに、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に貢献しています。



ベトナム



タイ



マレーシア



インドネシア



教育活動を通じて、個性を育み、 より豊かな人格形成を目指します



教育事業

カワイでは、音楽教室、体育教室を中心に、英語教室、絵画造形教室など、さまざまな教育活動を展開し、一人ひとりの個性を導き出すという教育の理念のもと、幼児から社会人、中高年の方までを対象に年齢やレベルに合わせて、興味の芽を大切に、素直に自己の感性を表現するサポートを行っています。

カワイ音楽教室

● 教育の理念

カワイ音楽教室の理念は音楽「を」学ぶのではなく、音楽「で」学ぶこと。

ただ単に技術を習得して「うまく」なることだけを目的とせず、各コースの表現活動を通して個性を育み、より豊かな人格形成を目指します。

personality & harmony



KAWAI MUSIC SCHOOL

カワイ音楽教室「教育の理念」

カワイは音楽を通じて、一人ひとりがかけがえない個性(personality)を導きだします。そして、おたがいの個性を尊重しあう中から、他人(ひと)と心を通わせ心共振(harmony)させる喜びを創りだします。

● 教育のシステム

「音楽は人間が豊かになる為の、もっとも栄養価の高い糧である」という信念のもとに、60年以上の実績を積み重ねながら、教育システム構築と指導方法の探求を行ってまいりました。

子どもから大人の方まで、「音楽する人(生徒)を育てる」という一貫した姿勢により、対象年齢に応じたコースを展開しています。

● 講師へのこだわり

1956年に誕生したカワイ音楽教室は、長い歴史の中で最先端の教育研究に取り組み、確かな実績を積み上げ、高い評価を得てきました。その内容の充実ぶりは、いずれのコースにおいても他に類を見ないと自負しています。特に幼児コースには力を注ぎ、講師は児童心理学や幼児教育理論の習得、実践研修を重ねています。

質の高い講師を十分に確保していることも誇るべき大きな特徴です。



● 個性を伸ばす多彩なコース

幼児リトミックコース〈グループレッスン〉

親子でふれあい
リトミック

1歳からの
クーちゃんランド

2020年度クラス
対象:2018.4.2~2019.4.1生まれの
お子さま

お友達と音楽
いっぱい!

2歳からの
くるくるクラブ

2020年度クラス
対象:2017.4.2~2018.4.1生まれの
お子さま

リトミック&
鍵盤コース

3歳のための
ピコルわーど

2020年度クラス
対象:2016.4.2~2017.4.1生まれの
お子さま

グループ
鍵盤コース

4歳のための
ピコルわーど

2020年度クラス
対象:2015.4.2~2016.4.1生まれの
お子さま

personality & harmony
カワイ音楽教室

個人コース〈個人レッスン〉

個人・グループ
レッスン

3歳からの
3歳ソルフェージュ

個人レッスン

4歳からの
子どもピアノコース

個人レッスン

小学生からの
ピアノコース

個人レッスン

ハイレベル
ピアノコース

カワイ大人の音楽教室
personality & harmony
KAWAI MUSIC SCHOOL



personality & harmony
カワイ英語教室



personality & harmony
カワイ絵画造形教室



体育・スポーツ教室を通じて、子どもたちの、心とからだの調和をはかり、豊かな人生を歩む基礎づくりをサポートします

体育・スポーツ教室

子どもを対象とした体育コースやスポーツコースでは運動能力の発達や技術の向上はもちろん、集団でのレッスンの中で協力して目標に向かったり、互いに励ましあったりすることで社会性を養うことなど、「からだの面」、「こころの面」、「知的な面」の3つの要素を重要視した指導を行い、人間的豊かさにあふれる人の育成をサポートしています。

体育コース



2歳クラス

からだ全体を使って、個性や運動能力、社会性を育みます。



幼児クラス

運動する楽しさを感じ、運動好きな子どもに育てます。



児童クラス

運動に関する創造性や積極性を育てます。



チャレンジコース

年齢の違う集団のなかで、「できる喜び」「生きる力」を育てます。



スポーツコース



サッカークラス

楽しいから上手くなる。好きだから長続き。夢はJリーガー。



新体操クラス

感動をあたえる美しい表現力を身につけるために…。



器械体操クラス

体操技術を通して、心とからだのバランスを育てます。



水泳クラス

水遊びから始めて、4泳法を習得。全身の発達をめざします。

さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから50年以上になります。このキャリアとノウハウを広く社会に公開・提供するのも一つの役目と考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする「カワイヘルスプロモーションサポートシステム」を構築し、さまざまなステージでの健康づくりをサポートしています。

カワイヘルスプロモーションサポートシステム



カワイ体育教室正課・課外

幼稚園の学習指導要領の健康領域をサポートする「カワイ体育教室」導入のご提案です。



特定保健指導の支援

カワイでは長年培ってきたノウハウをもとに、働く人を対象とした健康増進プログラムを、企業、市町村に導入していただいています。



介護予防システム

カワイは運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知機能低下予防を中心に、高齢者を対象とした介護予防の支援をいたします。



モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理を快適にサポートする今までに無いツールです。



介護予防指導員セミナー

カワイは介護予防事業の中心的な役割を担う「介護予防運動指導員」を養成する指定事業者として講習会を企画・実施します。

スポーツコミュニティ 次世代アスリートの育成や生涯スポーツのきっかけづくりの場を提供

トップアスリートの生の声や演技、指導は、運動への興味や関心、スポーツへの参加意欲を高め、次世代アスリートの育成や生涯スポーツのきっかけづくりになると考えています。

カワイ体育教室のチーフアドバイザーの水鳥寿思さんや新体操クラスのチーフアドバイザーの川本ゆかりさんをはじめとしたトップアスリートを招き、各地のイベントや「カワイカップ」など、トップアスリートと交流する機会として「スポーツコミュニティ」を展開しています。



水鳥さんの体操指導



川本さんの講演

カワイ体育教室 スタッフ紹介



チーフアドバイザー 水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリスト。現役を引退後カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。

● 運動の良さと大切さについて

運動を行うことで体力や運動能力などの丈夫な体を獲得できたり、目標達成能力や集中力などの精神的成長、仲間や先生とのコミュニケーションなどによって社会性も養われますが、そうした様々な効果をお子様が遊びながら自然と得られる、ということは他に代えがたいものであり子供にとって非常に重要な存在なのでは、と考えています。

また、夢中になって取り組んだ成果が形となって表れ、本人のみならず、見ている人にも感動を与えることができるのも運動の素晴らしい力だと考えています。



新体操クラス チーフアドバイザー 川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。カワイ体育教室の新体操クラスのチーフアドバイザーとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。

● 運動の良さと大切さについて

小さいころからお転婆で、できないことはできるまでやる!という、負けず嫌いな子どもでした。

小さなことでも、できた!成功した!という経験は自信へと繋がり、自分で運動の工夫や、創造をすることが好きになると思います。小さい頃に、様々な運動活動で多種多様な動きを身につけることで、生涯に渡って身体を動かすことが楽しいということに繋がると思います。仲間と一緒に喜んだり、助け合い励まし合う経験も、生きていくうえで生きる力を学ぶことにも繋がると思いますので、グループ活動も沢山経験することができる環境づくりが大切であると思います。

ランニングフェスティバルの開催

2020年1月13日、浜松市浜北区のサーラグリーンフィールドで、幼児から小学生までを対象とした「ランニングフェスティバル」が浜松市体育協会主催で開催されました。このフェスティバルではランニングの基本を楽しく学ぶために、委託を受けたカワイ体育教室がなわとびを使ったスタート練習やビーチフラッグダッシュなど敏捷性、瞬発力、反射神経を養うための豊富なメニューを用意しました。また、カワイ体育教室インストラクターの指導だけでなく、アジア大会銀メダリスト(現:城西大学陸上部総監督)の平塚潤さんをゲスト講師として招き、ご指導いただきました。多くの子どもたちは人工芝にリニューアルされたグラウンドを駆け回り、気持ちいい汗を流していました。

カワイ体育教室では走ることに限らず運動することの楽しさを味わえる教室展開をしております。



ランニングフェスティバルでの指導

人財を大切にしています

カワイでは、目まぐるしく変化する時代に対応した組織づくりを目指し、また創立 100 周年に向け、より強い企業になるための取り組みを推進しています。

一般事業主行動計画の遂行

カワイでは、特に子育て世代の従業員のワークライフバランスを見直してよりよい就労環境を提供すべく、厚生労働大臣からの「子育てサポート企業」の認定を受けるための一般事業主行動計画を掲げ、目標達成に向けた活動を続けています。

その一環として、従業員の家族を対象とした工場見学「かぞく参観日」を実施し、家族が働く職場、仕事内容を知っていただくことで、従業員それぞれのご家庭において、会社や働き方についての理解を深めていただくための「きっかけ」を提供しています。

また、「かぞく参観日」のほかにも、

- ・配偶者出産休暇の取得促進
- ・女性だけでなく男性の育児休業の取得促進

にも努めています。



かぞく参観日

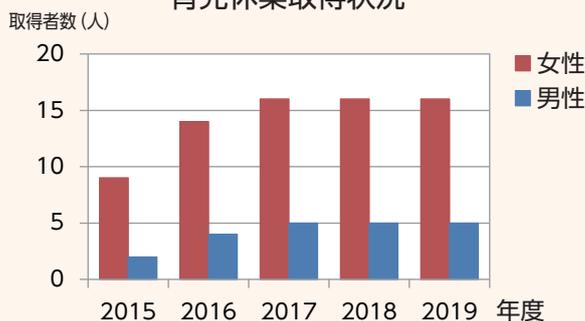
育児休業取得推進

カワイでは、1992 年から育児休業制度を導入し、取得率は上昇しています。

2019 年度は対象となる女性従業員 16 名が取得しており 94% の取得率となっています。男性従業員も 5 名が取得しています。

女性の育児休業からの復職支援として、人事担当者が毎月、取得者と連絡を取り合い、育児に関する相談を受けたり、会社のニュースをお知らせしたりしています。また、通信教育の受講を促し、修了者には受講料の全額補助をするなどして、スムーズな職場復帰を支援しています。

育児休業取得状況



工場見学の受け入れ

竜洋工場では、「かぞく参観日」以外にも、地域の小中学生・高校生・大学生その他多くの方々の見学を受け入れています。見学ではグランドピアノの組立工程をご覧くださいことができます。

見学後、小学生をはじめたくさんの方からお礼のお手紙をいただきました。「真剣な顔の職人さんを見て、これからも家のピアノをきれいに使いたい」「1 台のピアノができるまでに何人も職人の手作業があることがわかった」など嬉しい感想をいただいています。

海外からお見えになるお客様も多く、国内外のピアニストの方々にもご見学いただいています。

お客様の声
—工場見学の感想—

お客様から、たくさんの感想を頂きました♪

皆さんが一生懸命ピアノを作っておられる所、ピアノの内部など、細かい見学できて大変良かったと思いました。

前からピアノや歌をならっていて、今日さら、もっとピアノののれきしや、いろいろなピアノのことを知りたいと思いました。カワイのピアノ、大好きです。今日は本当にありがとうございました。

とても素晴らしい工場見学でした。非常にわかりやすい説明に加え、工場の方々の熱意がわかりました。ありがとうございました。

作業の方が笑顔であいさつしてくれた。雰囲気良かった。

わかりやすい説明をありがとうございました。細かい小さな仕事量があり、素晴らしいピアノが作られているところを見られて感動しました。皆様の笑顔にも感動いたしました。ありがとうございました。

楽しく興味深く拝見しました。職人さんたちの技にびっくり!!

2019年11月・12月の工場見学のお客様アンケートより
来場：1145名
(令和2年3月 業務室)

人手がここまでかかっているとは予想以上でした。

竜洋工場に掲示されたお客様の声

工場のご見学に関するお問い合わせ

竜洋工場 (ピアノ事業部 業務室)
住所：静岡県磐田市飛平松 252 TEL：0538-66-5111 FAX：0538-66-5919
工場見学はホームページからご予約いただけます。 <http://www.kawai.jp/ryuyofactory>

障がい者雇用の積極的な実施

カワイにおける障がい者雇用は、2015年度から5年連続で法定雇用率をクリアしており、2019年度も障がい者雇用率は2.7%と、法定雇用率の2.2%を上回っています。

これは、近隣の特別支援学校のご協力のもと、実習による業務の適正を考慮した採用を継続していることも大きく影響しています。

今後も、企業として地域とのつながりを重視しながら、社会的責任を果たしてまいります。



積極的な人財育成の実施

カワイでは、2007年から施行している新人事制度による人材育成体系に沿った教育研修を実施しています。

特に近年では若手従業員の育成に比重を置き、新入社員研修を皮切りに、6カ月目のフォローアップ研修、2年次研修、3年次研修、4年目の事務・技術・技能職を対象とした営業現場実習、5年目の営業職を対象とした生産現場実習、6年次研修と、6年目まではほぼ毎年教育研修を実施しています。

また、監督層や管理層への昇格者を対象とした昇格者研修や、業務能力向上を図るための階層別研修も毎年企画しています。

年次別、階層別の研修の他にも、ピアノメーカーの責務を果たし、一流の調律技術者を育成するため、国家資格1級を有した当社の調律技術者からさらに選抜された候補者を、カワイのピアノを知り尽くした証である「MPA」の資格取得のために育成するべく、1年間の海外研修に派遣しています。2014年と2018年には、女性調律師も海外研修に赴きMPAとして活躍しています。

MPA … Master Piano Artisan 技術力の高い調律師のみが持つ社内資格



教育研修風景



子どもにレクチャーをする海外研修生

健康経営優良法人認定

当社は経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2020 (大規模法人部門)」に認定されました。

人事労務部門の担当役員が「健康経営責任者」となり、健康経営を牽引するとともに、人事労務担当部門が中心となり、各事業所長・労働組合の代表者をメンバーとした中央安全衛生委員会をはじめ、産業保健スタッフ、健康保険組合とも連携し、従業員およびその家族の健康づくりを推進しています。





女性活躍推進活動を行っています

カワイでは時代の変化に対応した組織づくりを目指した活動を推進しています。「女性がライフイベントを越えてキャリアアップできる環境をつくる」「すべての従業員の個性と能力を十分に発揮できる職場をつくる」「新たな視点や考え方を取り入れることで組織の変革や活性化に繋げる」事を目的とした女性活躍推進プロジェクト『Love it!』（ラビット）を立ち上げ、活動しています。



研修の実施

育児や介護に関する両立支援研修を実施しています。これらの研修を通じて、育児をしながらの働き方や介護に関する心構えを学び、男女ともにやりがいをもって自身の役割を果たし、個々の意欲向上を図っています。

また、管理職を対象としたイクボス養成セミナーを開催し、部下の仕事と生活の両立を考え、自らも仕事と生活を楽しめる上司となるよう啓発を行っています。



介護研修の様子

サポーターチーム活動の実施

部門・職種・役割・地域・性別の枠を越えたメンバーによる組織横断的なサポーターチーム活動により、新たな視点や思考を取り入れ組織の活性化に繋げるとともに、女性活躍方策の企画立案を行っています。また、異なる環境の従業員同士のコミュニケーションにより、個々がモチベーション高く課題に取り組み、キャリアアップすることにも繋げています。

周知活動の実施

サポーターチームの活動や研修の実施などについては定期的にニュースレターを発行し、随時従業員に向けて周知しています。また、ワークライフバランスガイドブックを発行し、仕事と生活の両立を支援する制度をライフイベント別にわかりやすく説明し、社内の制度を周知しています。



ワークライフバランスガイドブック

『Love it!』の由来

従業員に馴染み深い、カワイ音楽教室のマスコット“カワイちゃん”がうさぎ（ラビット）であること、表記の『Love it!』は「いいね!」「それ大好き!」という意味で使用されるフレーズであることから、これらを掛け合わせ、呼称をラビットとしました。ロゴマークはラビットから連想されるうさぎをモチーフに、うさぎの耳、心を表すハート、楽しさや喜びを示すピースサイン、成長の象徴である新芽を融合したイメージに繋がるデザインとしました。また、このロゴマークのデザインは当社の女性従業員が担当しました。

Love it!

いいね!



[Rabbit]



[Heart]



[Peace]



[Sprout]



健全な企業経営体制を構築しています

コーポレート・ガバナンス基本方針 (2018.12.27 改定)

カワイは「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の創出に向けて「コーポレート・ガバナンス基本方針」を制定しています。この基本方針では、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方や体制など、5つの章に定めています。

コーポレート・ガバナンス基本方針の詳細は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このようなことからカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含した「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しています。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。

内部統制システムに関する基本的な考え方

カワイでは「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでいます。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めています。

河合会長兼社長のコミットメント

私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。

新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。

すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。

2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規準」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識しております。

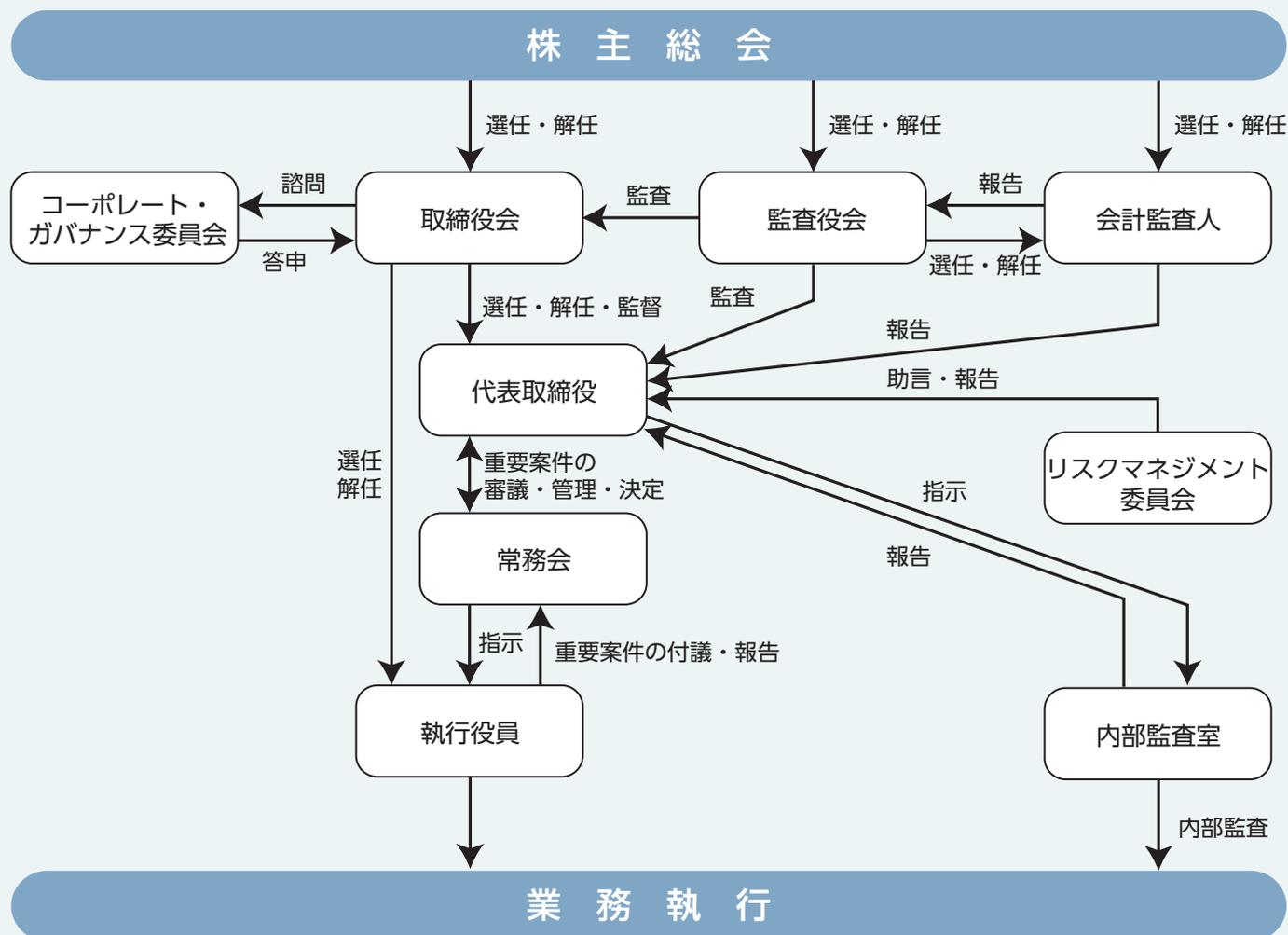
このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規準」の精神に則って行動することを誓います。



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

コーポレート・ガバナンス 体制／内部統制システム



- ・取締役会：社外取締役 2 名を含む取締役で構成
- ・監査役会：社外監査役 2 名を含む監査役で構成
- ・コーポレート・ガバナンス委員会：取締役会の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- ・2002 年 4 月より執行役員制度を採用
- ・2005 年 6 月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めています。
- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の遵守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

カワイのリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めています。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しています。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしています。

リスクマネジメント委員会	
地球環境委員会 カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会では「地球環境憲章」、「カワイ環境方針」、「グリーン調達ガイドライン」、「木材調達ガイドライン」等を制定。また環境に関する法令の遵守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。	製品安全対策委員会 万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があるかと判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。
海外安全対策委員会 海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。	中央防災対策委員会 カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。
情報セキュリティ委員会 情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。	中央安全衛生委員会 カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。
企業倫理委員会	
コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範も包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動基準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。	

カワイにおける新型コロナウイルス感染拡大防止について（2020年5月時点の取り組み状況）

政府が発表しました「緊急事態宣言」「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けてカワイでは緊急対策本部を設置し、お客様および従業員への感染防止の対策に努めています。

お客様への対応として、音楽教室や体育教室におきましてはイベントの中止・延期や感染が拡大している地域でのレッスンの休講、直営店におきましても、臨時休業や営業時間短縮などを実施してまいりました。

従業員への対応として、緊急対策本部を中心に通達を発令するなどの対応をとっています。

- 手洗い、咳エチケット、職場の除菌・加湿等の基本的な感染対策の徹底
- 原則として国内および海外出張の禁止、社用による外出の延期、中止
- 毎朝の検温の実施
- 地域の事情に応じて時差通勤やテレワークの実施

また、小学6年までの子を持つ従業員に対しては時限措置として「子の看護休暇」の拡大適用を認めています。

今後も、お客様および従業員の健康と安全を最優先に考え、感染防止に努めるとともに、状況が変わる場合には、都度、速やかに情報を開示してまいります。

環境負荷サイト別一覧

			参 考		基準年					
			1990	2015	2016	2017	2018	2019	基準年比	
電洋工場 静岡県磐田市 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218m ²	INPUT	電気	GJ	101,341	59,759	57,787	55,627	55,292	54,549	-1.3%
		燃料	GJ	28,253	16,091	17,861	18,032	16,876	16,668	-1.2%
		水	千m ³	3330.0	36.0	35.6	38.1	45.2	48.5	7.3%
		化学物質	ton		38.9	36.8	39.1	44.6	46.1	3.4%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	3,551	3,553	3,462	3,388	3,343	-1.3%
		化学物質	ton		9.6	9.1	10.1	12.3	13.5	9.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton	102.0	767.8	823.2	836.0	854.5	921.5	7.8%
カワイ精密金属(株) 本社・浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817m ²	INPUT	電気	GJ		57,647	63,386	68,526	67,822	63,834	-5.9%
		燃料	GJ		21.1	21.9	22.7	29.1	29.4	1.0%
		水	千m ³		24.0	28.5	30.0	31.4	28.4	-9.6%
		化学物質	ton		1.8	3.0	1.8	3.0	0.0	-100.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		2,632	2,894	3,129	3,097	2,915	-5.9%
		化学物質	ton		0.0	3.0	1.1	2.6	0.0	-100.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton		56.7	58.3	57.0	64.0	54.7	-14.5%
カワイ精密金属(株) 松本工場 長野県松本市笹賀 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612m ²	INPUT	電気	GJ	57,070	42,985	42,748	48,971	49,627	46,436	-6.4%
		燃料	GJ	7,132	4,109	5,393	5,473	4,194	3,417	-18.5%
		水	千m ³	42.1	73.3	72.3	79.6	67.0	69.1	3.1%
		化学物質	ton		32.9	39.5	33.5	15.2	0.4	-97.4%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	2,252	2,333	2,622	2,561	2,325	-9.2%
		化学物質	ton		23.7	30.6	26.1	8.6	2.0	-76.7%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	0.0	1.6	2.2	2.1	1.8	1.9	5.6%
		廃棄物 再資源化	ton	61.4	11.7	19.4	29.9	16.5	8.2	-50.3%
(株) カワイキャストینگ 石川県羽咋市柳田町 事業内容：鉄鉄鋳物の製造及び販売 敷地面積：41,000m ²	INPUT	電気	GJ		62,918	70,178	65,776	59,159	54,354	-8.1%
		燃料	GJ		29,113	33,656	28,847	23,875	21,442	-10.2%
		水	千m ³							
		化学物質	ton		19.4	22.8	19.5	14.6	13.9	-4.8%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		5,843	6,634	6,009	5,193	4,720	-9.1%
		化学物質	ton		2.0	1.9	1.7	2.5	2.7	8.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		518.3	349.7	345.1	298.5	212.6	-28.8%
		廃棄物 再資源化	ton		752.4	854.6	611.9	622.9	531.9	-14.6%
(株) カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中部町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074m ²	INPUT	電気	GJ	14,787	15,799	15,084	14,134	16,415	13,174	-19.7%
		燃料	GJ	11	3,636	3,595	2,885	2,771	2,517	-9.2%
		水	千m ³	28.6	4.3	3.6	3.0	3.4	2.7	-20.6%
		化学物質	ton		21.0	16.1	13.8	14.8	9.9	-33.1%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	979	943	849	945	780	-17.5%
		化学物質	ton		3.6	2.8	2.4	2.6	2.1	-19.2%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	131.4	117.6	79.7	91.6	77.1	-15.8%
(株) カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972m ²	INPUT	電気	GJ		969	920	871	865	881	1.8%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千m ³		0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		44	42	40	39	40	2.6%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		1.7	3.3	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton		7.3	11.4	7.1	11.0	15.0	36.4%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784m ²	INPUT	電気	GJ		5,651	5,827	6,207	5,751	5,574	-3.1%
		燃料	GJ		343	26	140	102	160	56.9%
		水	千m ³		4.1	3.6	3.6	3.4	3.7	8.8%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		282	267	293	269	265	-1.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		4.4	4.5	4.2	5.5	2.5	-54.5%
		廃棄物 再資源化	ton		22.9	24.1	22.9	78.9	39.2	-50.3%

第三者意見



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生

本報告書は各報告項目にSDGs（持続可能な開発目標。報告書2ページを参照）のアイコンをつける新しい形式でまとめられている。これは、カワイグループがこれまで進めてきた事業活動やCSR活動が、SDGsの17の目標のうち、どの目標に対応しているのかを明示するものであり、これまでも「持続可能」という国際社会の共通の目標に沿った事業を展開してきていること、これからもその取り組みを加速したいという意思が見てとれる。

報告書の最初には、2019年度に「100年ブランドの確立」をめざした第6次中期経営計画「Resonate 2021」がスタートしたことが、その目標とともに明確に示されている。さらに、2020年にはピアノづくりの原点を極める「原器工程」、先端科学技術による研究成果を活かしたピアノづくりを目指す「ピアノ研究所」、四季の自然の息吹を感じながらピアノづくりに邁進できる「森の中の緑の工房」をコンセプトとした竜洋工場が40周年を迎え、また、グランドピアノのプレステージ・モデル『Shigeru Kawai』は誕生から20周年を経て国内外の著名なピアニスト、音楽関係者から高い評価を得ている等、「100年ブランドの確立」に向けて順調な歩みを進めてきていることが示されている。

環境に対する取り組みではCO₂排出量、エネルギー使用量、廃棄物排出量ともに、目標（売上高原単位で2018年比-1%）

を達成したこと、省エネルギー法対応では、グループ内事業者がSクラスを継続達成するなど、着実かつ継続的に取り組まれていることが示されている。また、海外生産系事業所についてもCO₂排出量のデータが記載され、国内の取り組みを海外事業所にも展開していることがわかる。

「人財」育成の取り組みについては、女性がライフイベントを越えてキャリアアップできる職場を作るなど様々な目的のもとに女性活躍推進プロジェクト『Love it!』を立ち上げて、男女共同参画に向けた具体的な取り組みが始まっている。また、『健康経営宣言』を制定し、従業員とその家族の健康づくりを推進していることが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」にも認定されている。従業員が健康で楽しく働けることは必ず顧客の満足につながる企業活動を可能にすると思われる。

以上のように、本報告書にはこれまでの優れた取り組みの継続ばかりでなく、新しいことに対する積極的な取り組みが随所に示されており、カワイグループがより進化していることが読み取れる。新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中が深刻な影響を受けているが、これまで通りの真摯で意欲的な取り組みをおこなうことでカワイグループはこの困難を乗り越え、100年、そしてさらにその先の継続的な発展を可能にするものと信じている。

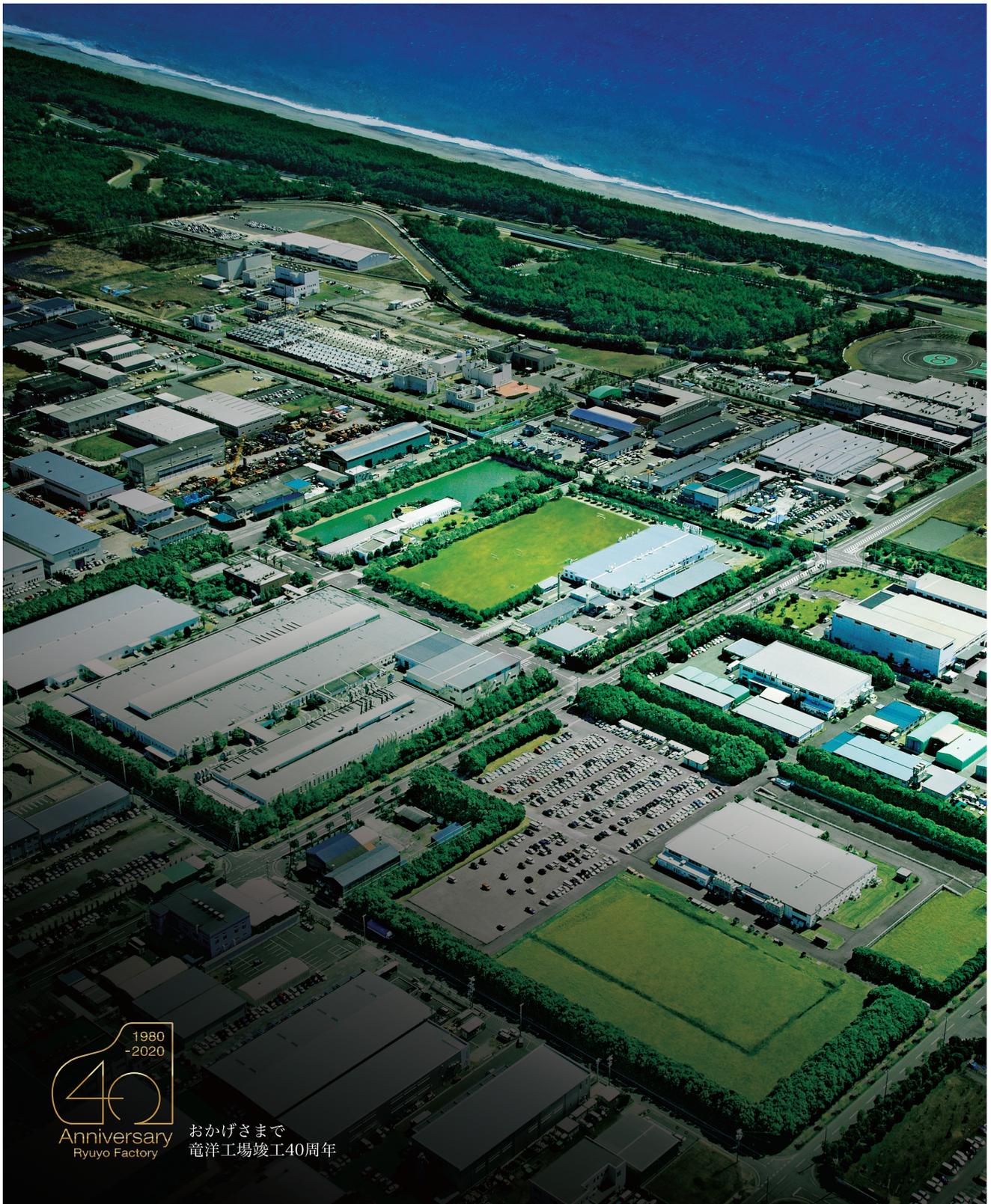
第三者意見を受けて

中崎先生には、本年度も引き続き、ご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、企業のESGへの取り組みやSDGsへの貢献が、企業と社会の持続的発展のための不可欠な要件となっていることから、本年度の環境社会報告書では、これらの課題への取り組みをご理解いただけるように心掛けました。この取り組みについてご評価いただいたことは大変な励みとなります。今後、重要課題に対する指標の明確化などを通して、より一層の充実が図れるよう努力してまいります。

また、長期ビジョン「100年ブランドの確立」の達成とともに持続可能な社会の実現のためには、従業員一人ひとりがCSR(企業の社会的責任)への理解を深めることが重要であるとの認識のもと、ESGへの取り組みを推進してまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)



おかげさまで
竜洋工場竣工40周年

株式会社 河合楽器製作所

お問い合わせ先

カワイ地球環境委員会

事務局：管理本部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL= 053-457-1252 FAX= 053-457-1300

URL= <https://www.kawai.co.jp/>

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

UD
FONT